

広島別院だより

Vol.31
冬号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会 発行

報恩講厳修

昨年十二月二日・三日に報恩講が勤められました。二日は江田島市明慶寺の長坂壽一師が、三日は東白島町圓光寺の谷川修真師が講師を務めました。以下、法話の抄録です。

《二日 長坂壽一師 法話》

●仏事は誰のため？

私の実家は他宗の檀家だった。子どもの頃から仏事は故人があので幸福になるためのものだと教えられてきた。つまり仏事は故人のためにするものだという前提である。しかし、教えを聞くことでその前提が破られ真実が明らかになる。つまり、追善から報恩への転換である。

法語力レンダーに「拝まない者もおがまれている。拝まないときもおがまれている」という法語がある。真実の教えに照らせば、実は故人のために私が拝むのではなく、私の方が阿弥陀仏と故人に拜まれていたのだ。

●死んだらどこに行く？

死んだらどこに行くのか？このことを考えることがその人の死生観につながる。人生の拠り所となる。

実家の父は白血病で亡くなる前に浄土真宗に改宗したいと願った。「親鸞聖人の教えとは」「死んだらどこに行くのか」ということが知りたかったようだ。



講師：長坂壽一師

私は父に法名をいただくことを勧め、病院の無菌室で父の帰敬式を執り行った。受式後、「これで安心や」と喜んだ父に私が「それで、どこに行くんや？」と尋ねると、「もう、どこでもええ。仏さんにまかすだけや」と言った。父は親鸞聖人の教えの通り、阿弥陀仏の本願に拠り所を見つけ安心を得たのだろう。

●報恩の仏事

父は亡くなる前に親鸞聖人の念仏の教えを選び取った。ならば私を拝む阿弥陀仏や先立っていった人たちに対して胸を張って念仏の教えに生きる事こそ、報恩の仏事といえるのではないだろうか。

《三日 谷川修真師 法話》

●非暴力Ⅱ仏教の基本的立場

仏教にはこれだけは外せないという基本線がある。アヒンサー（非暴力）は仏教の基本的な立場の一つである。しかし国家には例外として戦争や死刑という殺人が認められている。

これに対して一切の例外を認めないというのが仏教の立場である。

●いのちに優劣をつける私たち

国家が認める戦争や死刑のよいうな殺人以外にも優生思想に基づく不妊手術などがあった。いのちに優劣をつけ選別していたのである。障害者施設で大量殺人を行った植松聖は「意思疎通のできない障害者は安楽死させ



講師：谷川修真師

るべきだ」と語った。これも優生思想である。

今後、国家の認める殺人に安楽死が加えられるかもしれない。回復の見込みのない人に死ぬ権利を与えるべきだという意見もある。

しかし、安楽死の考えの根本には「死んでもよい命」と「死んではいけない命」の選別がある。これが認められると生きる権利も否定されかねない。

しかし私自身、父親をはじめ身内を看取ってきたが、苦しみながら死を待つ姿を見て悩んだのも事実である。



●報恩講Ⅱ自分の生き方を問う

問う直す仏事

報恩講は仏様や親鸞聖人の御恩に「報謝」する仏事といわれるが、「謝」の文字には「感謝」と「謝罪」の意味がある。教えを聞いてありがたいと感じるだけでなく、教えに背きながら生きている自分を問い直すことも報恩講なのである。

お寺のハテナ?

『納骨』



葬儀、法事終了後に納骨をしますが、各家のお墓はもちろんのこと、東本願寺(本山)へ納骨される方もおられます。東本願寺への納骨についてお伝えします。

☆真宗本願収骨と大谷祖廟納骨

●真宗本願収骨

相続講金を一定額(十二万円以上)進納されると、真宗本願(東本願寺)の御影堂にご遺骨を収めることができます。

真宗本願収骨は事前の手續が必要となります。まずは、大谷派に所属する寺院(お手次寺)のご住職に連絡し、相続講金を納め、収骨証の発行を受けてください。収骨証と同時に送られてくる

参拝案内冊子『参拝される皆さまへ』を参照し、添付の「事前届出ハガキ」で参拝予定日・人数等を記入し、参拝される二週間以上前に送ってください。

(注意) 取扱いの無い日がありますので、十分ご注意ください。
その他、不明な点はお手次のお寺又は広島別院までご連絡ください。

今回は「大谷祖廟への納骨」についてお知らせします。

法座・講座等のお知らせ

2月13日(土) 真宗基礎講座

～親鸞の生き方にたずねて～ (第3シーズン)

【講師】 三明智彰 先生 (九州大谷短期大学学長)
【日程】 毎回 13:30～16:00 【会費】 500円
【次回】 2021/4/10(土)



〈親鸞聖人のご生涯をたずね、浄土真宗の教えの基礎を学ぶ講座です。〉

3月22日(月) 春彼岸会

【講師】 日野志道 先生 (倉橋町 信順寺住職)
【日程】 14:00～勤行と法話 16:00 終了予定



〈彼岸とはさとの世界。昼と夜の時間が等しくなるお彼岸の時節に、かたよりのない仏様の教えを聴聞する法会です〉

毎月5日 定例法話 (ご今日の集い)

【講師】 県内僧侶(月替わり) 【日程】 14:00～勤行と法話(15:00 終了予定)
〈広島別院開基 教如上人の御命日(毎月5日)に法話会があります。〉

講座・法要・定例法話にお参りの際は、マスク等してコロナウィルス感染拡大防止にご協力ください。

道場樹

【編集室より】

偶然頂いた五鉢の苗から始まった菊作り。子育てが一段落した頃、花を咲かせることができた喜びから店で買って少しずつ増やしていった。

その後、声が掛かり初めて広島に出品し賞を頂いたものの、自分の菊は手を加えず自然のまま咲かせたので、花が小さく恥ずかしかった。他の出品の菊はどれも大輪で葉も大きく下に垂れ下がっている。そんな菊を目の当たりにして、本格的に菊作りにつながった。

夢中になれるもの、生き甲斐が欲しかった。菊じゃなくてもよかった。でもこの年になっても足腰元気なのは菊のおかげだと思っ。

昨年十一月、特作花壇の部で日本一といえる内閣総理大臣賞を二年連続受賞された、安芸南組正念寺の坊守吉川道子さんのコメントです。

「ただ、賞(評価)がなければ、どの作品も平等に見てもらえるのに」と言われる姿に菊作りへの情熱が垣間見えました。

(N・一)



真宗大谷派(東本願寺) 〒730-0044 広島市中区宝町 4-16
広島別院 明信院 Tel 082-241-5342(電話・FAX 共通)

東本願寺 広島別院

検索

